



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

「アイデアは行動をしてカタチになる」

飯倉 清太 (いいくら きよた)

特定非営利活動法人 NPOサプライズ 代表理事



○ 登録者情報

所在地

静岡県伊豆市

略歴

2009年 明治大学社会イノベーションデザイン研究所 客員研究員就任
2012年 静岡県地域づくりアドバイザー
2013年 内閣府地域活性化伝道師
2013年 静岡県観光振興アドバイザー
2016年 静岡県NPOパートナーシップ委員
2016年 ドットツリープロジェクト コンセプトデザイン
2016年 伊豆食べる通信創刊
2017年 静岡県総合計画 審議会評価部会委員
2017年 静岡大学コミュニティビジネス論 非常勤講師

著書・論文等

静岡新聞コラム「窓辺」執筆
JA協同組合 経営実務コラム執筆

○「アイデアは行動をしてカタチになる」

取組の内容

NPOサプライズは2008年に清掃活動からまちづくりを進めるためにスタートしたNPOです。名前の由来は「伊豆を驚かせよう」のサプライズと「伊豆に供給しよう」のサプライをかけています。様々な行動を続けた経験から2011年より地域の若者と連携を開始、次世代育成や静岡県内に各所での地域人材育成「未来塾」に力を注ぎ始めます。その後、地域活性には「仕事」と「住居」が重要だと位置づけ、2016年地元企業と連携し、「住む」と「働く」をテーマにした「小規模オフィス+2LDK+広報アドバイス付き」の賃貸物件「ドットツリー」をプロジェクトデザインを担当。また地域の仲間と一緒に情報発信力を高めるために食材付き定期購読誌「伊豆食べる通信」をスタート。活動を行う上でのマネタイズの方法やコミュニティビジネスにも着目、継続して事業が行えるような仕組みを常に考えている



実績

・住むと働くをセットにした 移住定住物件「ドットツリー」のプロジェクトデザイン担当。12棟の物件に対して33組の応募があり、面談を実施。移住をすることは簡単だが、住み続けることは難しいという点に着目。ただ賃貸として貸し出すのではなく1業種1社という取り決めをすることで移住後の連携を強化し継続的なビジネスが行えるように工夫。また域内、域外コミュニティとの連携を深めるための施策も実施。



工夫した点や苦勞した点

物件自体の情報発信は年間スケジュールを立て、ピークを年4つに分けた。また情報拡散はプレスリリースとSNSのみで行い、不特定多数よりも興味を持っていただける「特定の少数」の方へ丁寧に発信を続けたことで、定員の3倍の申し込みを獲得することができた。またいくつかの一定条件を承諾してもらうことで家賃軽減をする仕組化も実施したことで、入居後の運営がスムーズとなった

ひとつPR

「行動しなければアイデアはカタチにはならない」と考え PDCAではなく、まずは小文字の「d」からスタートする「d」PDCAを軸としてプランを組み立てている。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
○	5	定住促進		11	その他
○	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

特定非営利活動法人 NPOサプライズ	http://www.surprizu2012.jp/
--------------------	---

連絡先

メールアドレス	info[アットマーク]surprizu2012.jp	その他	
---------	-----------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。

戻る